

よしだ

文化会館だより

No. 92
2007. 1. 1

今を一生懸命生きてほしい

人権問題講演会で白井のり子さん

人権問題について正しい認識を深めてもらおうと、人権週間最終日の12月10日、平成18年度笠岡市人権問題講演会が笠岡市保健センター・ギャラクシーホールで開催されました。講師に白井のり子さんを迎え、「『典子は、今』」あれから25年〜今を大切に生きる」を演題にご講演いただきました。市内外からおよそ390人が詰めかけた会場で、白井さんは幼少の頃の体験や映画撮影時のエピソードを交えながら、「周囲の『大丈夫』という言葉に励まされた」と、障害を持ち不安を抱えている人を周囲が支えていく環境づくりの大切さを訴えられました。参加者からは、「障害をもつ子どもの親として、立場は違っても共感できる部分がたくさんあった。白井さんのお話に励まされた」「今、生きることの素晴らしさについて考えることができました」といった感想がたくさん寄せられました。

また、研修室で「第8回笠岡市人権フォトコンテスト入賞作品展」と「『人権の花運動』紹介パネル展」が同時開催され、展示を興味深く見入る姿が多数見られました。



吉田地区生涯学習フェスティバルに 吉田文化会館の講座が作品を出品しました



▲立ち止まって鑑賞する姿が多数見られた展示の様子

11月26日、笠岡市立吉田小学校で平成18年度吉田地区生涯学習フェスティバルが開催されました。この催しに、吉田文化会館の手芸教室、木彫教室及び子ども硬筆教室の講座生らが今回初めて作品を出品し、日頃の学習の成果を発表しました。会場には、吉田文化会館の講座から出品された57点を含む多数の作品が展示されました。また舞台では、吉田保育所の子どもたちによる鼓笛演奏や吉田公民館の講座の発表なども行われました。

当日はあいにくの雨でしたが、作品や芸能などを鑑賞しようとする多くの人が訪れて熱心に見入り、作品を通して交流を深めることができました。

よしだ文化会館だより①